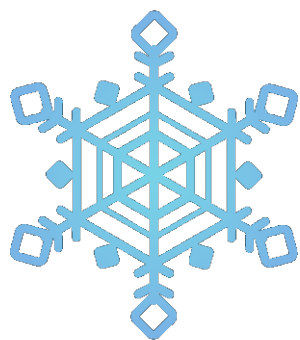


令和6年度

ふ ゆ て ん ら ん か い

冬の展覧会



開催日時：1月9日(木)・10日(金)・11日(土)

一般・保護者公開時間(土)：10:00~12:00 ※写真撮影は御遠慮ください

開催会場：講堂(体育館)…平面作品、多目的ホール…立体作品

埼玉大学教育学部附属小学校



《作品のしょうかい》

1年1組『はこと はこを くみあわせて』(立体)

わたしたちのまわりにあるいろいろな形や色の箱！！それをたくさん集めたよ！！いろいろな箱を組み合わせながらどんなものをつくろうかと考えました。今まで使ったことのある材料も使ってつくりました。

1年2・3組『てでさわってかくのきもちいい』(平面)

液状の紙粘土に絵の具をまぜると、いろいろな色の楽しいどろどろ絵の具の完成。指や手で感触を楽しみながら、画用紙にのびのびとかきました。さらにクレヨンでかき足して、自分の思いを表現しました。

2年1組『キラキラシャボンから』(平面)

色付きのシャボン液をブクブクして、画用紙にうつしました。その跡は…。あれ、動物に見えてきたぞ、こっちは私の大好きなお菓子に見えてきたよ！キラキラしゃぼんから生まれた形に付け足して、作品にしました。

2年2組『えのぐひっぱレインボー』(平面)

画用紙の上に蒔いた絵の具の種を固い板で引っ張ると…。そこには絵の具のにじが広がりました。このにじを見立てて、作品をかきました。カラフルな世界を見てみると、心の雨も止み、にじがかかることでしょう。

2年3組『ふしぎなポケットから』(立体)

あんなこといいな、できたらいいな…。自分の思いを膨らませて、願いを叶える道具をつくっちゃおう！23世紀デパートの商品開発部員として、友達と遊び合ったり（商品テスト）、友達に紹介し合ったり（出張）しました。夢の道具の完成です！

3年1組『キラキラさんが集まると！？』(平面)

キラキラの材料を、切ったり、折ったりして、キラキラの世界をつくろう！キラキラの材料の組合せを試しながら、表したいことを見付けました。材料の特徴を生かして、自分だけのキラキラの世界をつくりました。

3年2組『カラフル粘土でマイグッズ』(立体)

粘土と透明な容器を組み合わせて自分だけのマイグッズを作ろう！粘土に絵の具を混ぜてできた色を楽しみながら、何を表すか考えました。粘土の色、透明な容器との組み合わせの工夫を是非ご覧ください。

3年3組『あけてびっくり あらふしぎ！？』(立体)

身近にある「あけられる」もの…あけて見てみて不思議な世界があったら…。ドキドキ、ワクワク。そんなことを考えながら、箱の中に小さな世界をつくりました。箱の中をあけてみてください。あけたらあなたを、不思議な世界へのご招待します。

4年1組『どろどろカッチン』(立体)

一枚の布が液体粘土によってカッチカチ…でもよ〜く見てみたら面白い形に変身しているじゃないか！普段手にする布から様々に見立てて、自分なりの物語を考え作品にしていきました。形の面白さ、混色の素敵さを是非皆さんご覧ください。

4年2組『ゆめいろランプ』(立体) ※図工室での公開

自分の「ゆめ」をランプで表すと…。光の色は？どんな形のランプかな？漏れてくる光の感じは？床に映る影はどんな感じになるのかな？みんなの「ゆめ」が一人一人違うように、完成した「ゆめいろランプ」も1つとして同じものはありませんね。

4年3組『紙の箱 大変身！』(立体)

紙の箱をカッターナイフで切ったらねじねじ、ぐるぐる…面白い形が見えてきた。箱に切り込みを入れて開いてみたら、違う形が見えてきた。それらを組み合わせて面白い形に大変身させました。大変身した箱の姿をぜひ見てみてください。

5年1組『アルミの錬金術師』(立体)

普段よく見るアルミ缶。でも、このアルミ缶は違います。「きって、ひらいて、くっつけて…」5年生の技能と想像力を発揮させて、アルミ缶を大変身させました。もう、ただのアルミ缶ではありません！どんな変身をとげたのか、みてください。

5年2組『あったらいい街、こんな街』(平面)

突如現れた謎の街。ここには、いろいろな不思議なことが起きるし、面白い生き物もいる。あったらいいなと思う街を一人一人考え、絵に表しました。この街行ってみたい！と思える街にきっとあなたも出会うでしょう。

5年3組『わたしは段ボールアーティスト！』(立体)

段ボールって固くて丈夫。でも切るのも接着するのも簡単。いろいろな表現が試せます。切り方、つなげ方を工夫して、どんどん形が変わっていく面白さを味わいながらイメージを広げ…気分は、もう芸術家！一人一人のこだわりをみてください。

6年1組『わたしの二つの気持ち』(平面)

日々変化する毎日、気持ちもその時々で変わっていくものです。そんな気持ちを形や色で表しました。描画材も、支持体も自由。どうすれば自分の気持ちを絵に表すことができるのか、「境界」と「融合」を意識しました。図画工作の学習の集大成として取り組みました。

6年2組『時空を超えて』(平面)

今自分はいつ、どんな場所へ行きたいのだろうか。未来、過去、現在あるいは架空の場所でも、絵の中では「時空を超える」ことができます。画材は自由で自分の表したい世界を表現しています。自由に発想し表現している作品をお楽しみください。

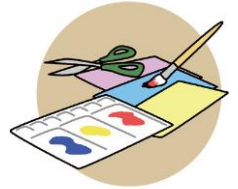
6年3組『わたしの二つの気持ち』(立体)

わたしは今、どんな気持ちなのだろう。気持ちって1つではない。たくさんの気持ちがあって、それらが複雑に絡み合ったり交じり合ったりくっついたり…複数種類の粘土を自分で選択し、不協和な感情を表現してみました。粘土で表すことによって見えてくる複雑な感情をぜひご堪能ください。

【冬の展覧会のみどころ】

冬の展覧会では、それぞれの学年で新しい材料や用具を使い、様々な形や色にふれ、豊かなイメージをもてるようにしてきました。様々な材料やよさと関わることは、子供たちの創造力や表現力を高めることにもつながります。どれだけ材料と対話し、関わりをもったかということも、御覧ください。

一つ一つの作品には、子供たちの思いや願いが十分に込められています。近くに寄って、子供たちの工夫やこだわりを見つけてください。



【子供たちの作品について】

子供たちは「こんなことを表したい」「こんな形や色にしたい」と、それぞれが思いをもって作品をつくります。作品とお話をしながら思いを実現するために、材料を選んだり、表現を工夫したりします。そうした過程がとても大切なのです。

つくっているところを見ていなくても、でき上がった作品をよく見てみると、その子の奮闘ぶりが伝わってきます。できばえに関係なく、一生懸命に工夫していること、心をこめて取り組んだことが伝わってきます。

子供のすばらしい作品とは、できのよしあしではなく、その子の思いが、見る人に伝わってくる作品ではないでしょうか。作品を見ながら、子供たちの心や思いを受けとめ、それぞれの『その子らしさ』をじっくり味わってください。



【冬の展覧会の感想をお聞かせください！】

スマートフォン等から、会場内に掲示されているQRコードを読み取っていただき、皆様の声をお聞かせいただき、今後の表現活動や展覧会に生かしていけるようにしたいと考えております。ぜひ、忌憚のない御意見・御感想をお聞かせください。

よろしく願いいたします。

